

DISPOSABLE BRUSH

Patent Number: JP9135728
Publication date: 1997-05-27
Inventor(s): YOSHIMURA NAOKO
Applicant(s):: YOSHIMURA NAOKO
Requested Patent: ☐ JP9135728
Application Number: JP19950352442 19951114
Priority Number(s):
IPC Classification: A46B15/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a compact and sanitary disposable brush for diversified uses.
SOLUTION: For this brush, cuts 1 are made on paper capable of being flushed in a flush toilet and the paper is turned to a cylindrical shape. As necessary, in order to keep the thickness of the cylindrical shape and the shape of the brush, fixation is performed by an adhesive tape, a rubber band, paste, a pawl put in the paper beforehand and the cut to be the insertion port of the pawl, etc.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-135728

(43) 公開日 平成9年(1997)5月27日

(51) IntCl.
A 4 6 B 15/00

識別記号

庁内整理番号
7456-3K

F I
A 4 6 B 15/00

技術表示箇所

Z

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-352442

(22) 出願日 平成7年(1995)11月14日

(71) 出願人 596013084

吉村 直子

神奈川県藤沢市鶴沼松が岡4-2-4

(72) 発明者 吉村 直子

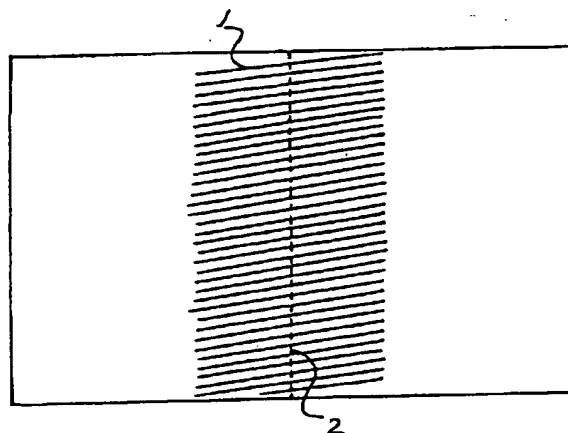
神奈川県藤沢市鶴沼松が岡4-2-4

(54) 【発明の名称】 使い捨てブラシ

(57) 【要約】

【目的】コンパクトで衛生的な多用途の使い捨てブラシを考案すること。

【構成】水洗トイレに流すことが出来る紙、その紙に切り込み(1)を入れ筒状にしたブラシ。必要に応じて、筒状の太さやブラシの形状を保つ為に、粘着テープ、輪ゴム、のり、あらかじめ紙に入れた爪、と爪の差し込み口にする切り込み等を用いて止める。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】(イ)紙に使用目的に合った本数、長さの切り込み(1)を入れる。

(ロ)点線(2)で山折りにする。

(ハ)上部(3)から下部(4)の方向へ内側に巻き込み筒型の太さに合わせた止め具等で、ブラシの形状を保つ。

【発明の詳細な説明】

【0001】〔産業上の利用分野〕この発明は紙から作る使い捨てブラシに関するものである。

【0002】〔従来の技術〕従来、ブラシは穂の部分の汚れが落としにくく洗った後乾くのに時間がかかる。便器用ブラシは掃除する時、水を大量に使い、まわりに水が飛び散りやすく困った。使用後の便器用ブラシは汚れが落ちにくく不衛生になりやすい。コンパクトに収納しにくい。

【0003】〔発明が解決しようとする課題〕便器用ブラシは、使用後洗いにくく、ブラシのケースと共に、不衛生であり、目障りであった。本発明はこれらの欠点を解決する為に発明されたものである。

【0004】〔課題を解決する為の手段〕

(イ)使用後水洗トイレに流すことの出来る紙に、切り込み(1)を入れる。

(ロ)点線(2)で山折りにして2つ折りの状態にする。

(ハ)2つ折りにした紙の上部(3)から下部(4)に向かって内側に巻き込み使用目的に合った太さの筒型にする。

(ニ)必要であれば、粘着テープ、のり、あらかじめ紙に入れておいた、爪と爪の差し込み口の切り込みによって太さを決めて止める。
本考案は以上のような構成よりなる使い捨てブラシである。

【0005】〔作用〕紙に、左下から右上に向かって入れた数本の切り込み(1)と、山折りし2つ折りにした紙を上部(3)から下部(4)の方向へ内側に巻き込み出来た筒型ブラシは、使用中、筒が太く弛んで来るのを防ぎ汚れを強く落とす作用がある。使用目的により、切り込み(1)の角度、本数は、変化させる。

【0006】〔実施例〕以下、本発明の実施例について説明する。

(イ)使用後水洗トイレに流すことの出来る紙に、左下*

2

*から右上の方向に切り込み(1)を何本か入れる。

(ロ)点線(2)で山折りにして2つ折りの状態にする。

(ハ)2つ折りにした(ロ)の状態の紙の上部(3)から下部(4)に向かって内側に巻き込み、使用目的に合った太さになった筒型のまま、或は、ここで出来た筒型を保つ為の、粘着テープ、のり、あらかじめ紙に入れておいた切り込みによって出来る爪、と爪の差し込み口によって止めた筒型、をブラシとして用いる。

10 (ニ)使用後、水洗トイレに流すことが出来る。

使い捨てブラシは、刷毛、絵筆、泡立て器として応用出来る。使い捨てブラシに用いる紙は、水洗トイレに流すことの出来る紙、その他の紙である。又、紙以外の材料としては、樹脂、金属、プラスチック等のシート、或は、筒である。第4図、第5図に示すように、四角形の一辺に切り込み(5)を入れ、切り込み部分が穂の部分になるようにして出来た筒型ブラシは、この発明を応用した使い捨てブラシである。

20 【0007】〔発明の効果〕1枚の紙から、充分に使用に耐える多用途の使い捨てブラシが出来たことにより、便利になった。便器用使い捨てブラシは使用後水洗トイレに流すことも出来るため、まめに掃除が出来るようになった。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の材料となる紙に、切り込み(1)を施し、さらに、山折り線を示した図である。

【図2】【図1】を山折り線(2)で2つ折りにした状態の図である。

【図3】【図2】の上部(3)から下部(4)に向かって内側に巻き込み筒型のブラシの使用時を表す図である。

【図4】四角形の一辺に切り込み(5)を施した図である。

【図5】【図4】を筒型にしたブラシの使用時を表す図である。

【符号の説明】

- 1、左下から右上へ向けて入れた切り込み
- 2、山折りする線
- 3、山折りし2つ折りにした紙の上部
- 4、山折りし2つ折りにした紙の下部
- 5、四角い紙の一辺に入れた切り込み

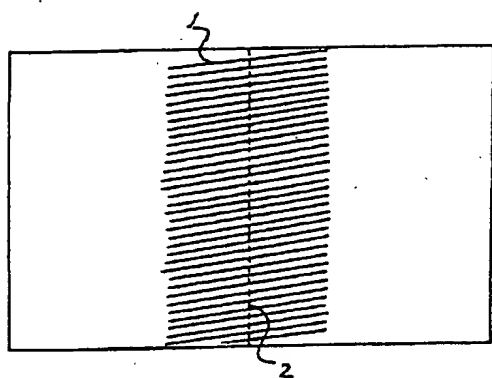
【図3】



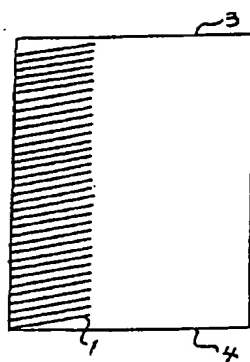
(3)

特開平9-135728

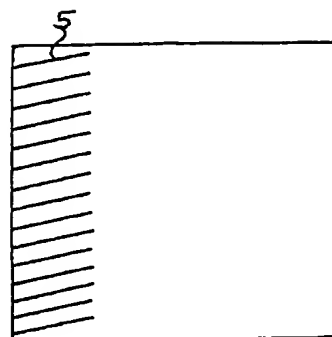
【図1】



【図2】



【図4】



【図5】

